

中部ブロック会議（平成28年8月29日、30日 福井県：ザ・グランユアーズ フクイ）

参加者約110名を得て中部七県ブロック協議会第61回定期大会として開催。大会テーマは「産学連携等による人材育成と地域貢献をめざして」。

開会式では、赤星哲志福井県専修学校各種学校連合会会長が開式のことばを述べ、国歌斉唱、参議院議員山谷えり子福井県専修学校各種学校連合会名誉会長が歓迎のことばを、浦山哲郎中部七県ブロック協議会会長が主催者あいさつを、小林光俊全専各連会長があいさつを述べた。次いで西川一誠福井県知事（代読）、東村新一福井市長（代読）の来賓祝辞、来賓紹介を行ない開会式が終了した。

本会議では、議長団選出及び議事録署名人選出の後、平成27年度事業報告及び大会テーマの提案説明を行い、異議なく拍手承認された。次に全専各連事務局から全専各連運動方針について触れ、専修学校、各種学校制度の充実・改善、新しい高等教育機関の創設、生涯学習の振興策などを述べた。また一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の事業である教科「職業とキャリア」、J検・B検、共済保険等への取組について説明し、更なる理解を促した。

小憩後、全体会第1部にうつり、白鳥綱重文部科学省専修学校教育振興室長が文部科学省概要説明として、平成28年度専修学校関係予算について触れ、学校評価の充実による専修学校の質保証・向上、経済的支援の在り方に関する実証研究事業などの説明が行われた。またこれからの専修学校教育の振興のあり方検討会議について、基本的方向性や具体的な施策などの経過報告が行われた。

小憩後、第2部にうつり、福井県専修学校各種学校連合会から大原スポーツ医療保育福祉専門学校由井正之先生の職業実践専門課程の事例発表が行われた。企業との連携の深化により、実習・演習において更に実践的で効果的な授業展開ができたこと、学校評価や情報公開により教員の意識が向上したこと、認定による効果と今後の課題について発表された。その後、白鳥綱重文部科学省専修学校教育振興室長が職業実践専門課程に関して行政説明を行った。実態アンケートの結果に基づいた認定校での組織的な改善が生まれた状況報告、申請様式を含めた認定要件ごとの留意事項の徹底、今年度の実施要項の変更点についての説明を行った。その後、赤池誠章参議院議員が駆けつけ、専修学校各種学校の振興に力を尽くしていくと決意を述べた。

閉会式では、大会宣言が提案され原案どおり承認された。浦山哲郎中部七県ブロック協議会会長の主催者あいさつ、福井県から岐阜県への県旗引継、平野宏司岐阜県専修学校各種学校連合会会長の次期開催県あいさつが行われ、会議を終了した。その後、懇親会を開催し初日が終了した。

翌日、福井市内の視察が行われ全ての日程が終了した。

なお、採択された大会宣言決議文は次のとおりである。

【大会宣言・決議文】

「産学連携等による人材育成と地域貢献を目指して」をテーマに、ここ福井の地におきまして、中部七県の専修学校・各種学校が集い、中部七県ブロック協議会第61回定期大会が盛大に開催され、多大なる成果を収めることができました。

平成25年8月、質の高い職業教育を推進する制度として専門学校に「職業実践専門課程」が設けられました。さらに、この制度の要件を満たす認定学科の増大が職業教育振興の一つの方策であり、社会的に評価される高度な職業教育機関としての確固たる位置付けを得るための基盤となるものと確信しています。

また、中央教育審議会の特別部会において、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関（新機関）の制度化について議論され、今年5月30日に答申が出されました。この答申の理念を受けて議論が行われる新たな大学の設置基準等について、引き続き注視していく必要があります。

一方、教育再生実行会議の第6次提言において、社会人がいつでも学び直し、キャリアアップを図ることができる教育プログラムの提供の推進、学習成果の評価・活用の仕組みや社会的に認められる教育の質・内容を保証する仕組みを構築することが提言されました。専修学校・各種学校があらゆる世代のための学びの場として、多様な教育プログラムが提供できる創意工夫や環境整備等への取り組みが重要な課題となってきます。

さらに、地方創生に向けた政策推進においては、意欲と能力のある若者が地方に定着して活躍できるよう、引き続き地域のニーズに対応した人材育成が期待されています。

そして、私たちは高度な人材育成機関として、今後とも多様かつ特色ある職業教育を提供し、地域に貢献するため、「自己評価」及び「学校関係者評価」、「情報公開」を通し、さらなる教育の質の向上を図るなど、教育機能の強化に努めていくことが求められています。

このような状況の中、本大会では、「産学連携等による人材育成と地域貢献を目指して」をテーマに熱心な協議がなされました。中部七県ブロック協議会の専修学校・各種学校は、第61回定期大会の成果を踏まえ、職業教育を担う中核として、その社会的責任を自覚し、新時代に向かい踏み出す第一歩とすることを確認いたしまして、次のとおり宣言・決議いたします。

- 1 社会的基盤を支える人材育成に向けて、キャリア教育・職業教育の推進による実践的な職業能力の育成に取り組みます。
- 2 職業教育体系を明確なものとし、国際的通用性のある実践的な高等職業教育機関の制度化を図り、我が国の教育の複線化を推進します。
- 3 「職業実践専門課程」認定制度の検証と課題を探り、社会的価値の向上を図り、職業教育機関としての社会的位置付けを確固たるものにします。
- 4 教育の質保証を担保する自己評価及び学校関係者評価を推進し、また、積極的な情報公開を通じて、専修学校・各種学校としての社会的責任を果たします。
- 5 生涯にわたり学習活動と職業生活を営むことができる教育機関としての責務を果たし

ます。